

**令和7年4月採用予定**  
**地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター**  
**研究職員採用試験（大学卒業程度）募集案内**

鳥取県産業技術センターでは、次のとおり令和7年4月1日採用予定の研究職員を募集します。  
 採用後は、地方公務員として県内産業に波及効果のある研究開発や県内企業への技術支援業務を行い、本県産業の振興に貢献していきます。意欲のある方のご応募をお待ちしております！

**1 募集分野・採用予定者数及び主な業務内容**

分 野	採 用 予 定 者 数	主 な 業 務 内 容
化学	2名程度	次の①又は②のいずれかの分野に関して、研究開発や企業からの技術相談、機器利用、依頼試験、人材育成への対応など、県内企業に対する技術支援業務を行います。 ① 有機材料、バイオマス系材料、プラスチック、ゴムなどの高分子系材料等に関する分野 ② 化学的手法による金属の表面処理、物性評価技術その他の工業化学に関する分野

※募集分野は、学術的な専門知識だけを示すのではなく、経済活動や企業の生産活動で活用できる実践的な知識または経験を求めています。

**2 採用試験の受付期間、試験日、試験会場、合格者発表日、採用予定時期**

受験申込受付期間	令和6年3月1日（金）～ 令和6年5月20日（月） ※受験申込書午後5時15分必着 ◎持参による場合の受付時間 午前8時30分～午後5時15分 土曜日、日曜日及び祝日は、受け付けておりません。 上記の受付日・時間以外に持参されても、理由の如何を問わず受理しません。 ◎郵便又は信書便の場合も5月20日（月）午後5時15分必着としますので送付期間を考慮して早めに送ってください。
第1次試験	令和6年6月9日（日） （受付開始 9時30分 試験開始10時 試験終了15時10分） 【試験会場】 ・鳥取会場 鳥取県産業技術センター（鳥取市若葉台南7丁目1-1） ・東京会場 品川東急ビル 8階 AP品川 Cルーム （東京都港区港南1-6-31） ・大阪会場 日本生命梅田ビル 5階 AP大阪梅田東 Aルーム （大阪府大阪市北区堂山町3-3） ※試験会場の変更を行う場合は、当センターホームページに掲載します。
第1次試験合格者発表	令和6年6月21日（金）
第2次試験	令和6年7月19日（金）（7月22日（月）予備日） ◎試験時間等の詳細は第1次試験合格者に通知します。 【試験会場】 鳥取県産業技術センター
最終合格者発表	令和6年7月26日（金）
採用予定時期	令和7年4月1日
業務・施設の説明	随時（希望者は連絡をお願いします） 鳥取県産業技術センターの業務・施設説明を行います。希望される人は、下記12の業務・施設説明の案内欄をご確認の上、お申し込みください。

**〔地方独立行政法人 鳥取県産業技術センターとは〕**

鳥取県産業技術センターは、平成19年4月に鳥取県から独立して地方独立行政法人（公務員型）に移行した公設試験研究機関です。

採用された職員は、地方公務員法が適用される**地方公務員**となります。給料の額等は鳥取県職員の例によります。

詳しい業務内容などは 鳥取県産業技術センターホームページをご覧ください。  
<https://www.tiit.or.jp/>

問い合わせ先：鳥取県産業技術センター総務部総務室 0857-38-6200

### 3 受験資格

区 分	応 募 資 格
年 齢	平成元年（1989年）4月2日から平成15年（2003年）4月1日までに生まれた人
国籍・性別	国籍・性別は問わない。 ※日本国籍を有しない人で、採用時に就職に制限のない在留の資格を有していない人は、採用されません。
資 格	大学若しくは大学院を卒業又は修了した人又は令和7年3月31日までに卒業・修了見込みの人で、次のいずれかに該当する人 なお、大学には工業高等専門学校専攻科など、当センターが同等の資格があると認めるものを含みます。 ① 大学若しくは大学院において化学系、工業化学関係学科（無機化学、化学工学、物質材料化学等）又は高分子材料関係学科を卒業又は修了するか、若しくは卒業又は修了見込みの人 ② 民間企業等（自営業・公的機関を含む。）において、化学系、工業化学関係（無機化学、化学工学、物質材料化学等）又は高分子材料に関する研究若しくは開発（これらに準ずる業務を含む。）に従事した職務経験を通算して4年以上有している人又は令和7年3月31日までの間に当該職務経験が4年以上となる見込みの人
その他	※次に該当する人は応募できません。 ① 成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。） ② 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人 ③ 鳥取県産業技術センター又は鳥取県職員として懲戒免職処分を受けその処分の日から2年を経過しない人 ④ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

### 4 試験内容・試験地・試験日時

試験区分	内 容	試験会場	試験日時
第1次試験	適性検査	〔鳥取会場〕 鳥取県産業技術センター (鳥取市若葉台南7-1-1)	令和6年6月9日(日) 受付開始 9時30分～ 適性検査 10時～ 論文試験 10時50分～ 専門試験 13時～ (終了予定時刻15時10分)
	論文試験	〔東京会場〕 品川東急ビル 8階 A P品川 Cルーム (東京都港区港南2-4-1)	
	専門試験	〔大阪会場〕 日本生命梅田ビル 5階 A P大阪梅田東 Aルーム (大阪市北区堂山町3-3)	
	募集分野に係る専門知識の筆記試験 〔120分〕 ※出題分野等は、別記のとおり		

第2次試験	個別面接	人物及び専門知識に関する口頭試験 ・プレゼンテーション ・個別面接	鳥取県産業技術センター (鳥取市若葉台南7-1-1)	令和6年7月19日(金) (7月22日(月)予備日) ※時間割等については、 第1次試験合格者にお知らせします。
-------	------	---	-------------------------------	---

※第1次試験の適性検査の結果は第2次試験に用います。  
※第2次試験の個別面接は、各人同一日に2回実施します。

#### 《別記》第1次試験 専門試験の出題分野

次の出題分野の中から出題します。

分野	出題分野
化学	有機化学、分析化学、高分子化学、合成化学、物理化学、数学

## 5 受験申込手続

### (1) 提出書類

#### ① 受験申込書 1部

受験申込書の内容をよく確認して必要事項を記入の上提出してください。

※受験申込書の様式は、鳥取県産業技術センターホームページ (<https://www.tiit.or.jp/>) に掲載します。

#### ② 返送用封筒 1通

受験票を郵送しますので、受験票の受取先を明記し、**84円**切手を貼った封筒〔長形3号(12.0cm×23.5cm)〕を併せて提出してください。

### (2) 申込方法

上記の提出書類を「研究職員受験申込書在中」と明記した封筒に入れて、(3)の申込先に持参するか郵便(配達記録郵便)又は信書便(書留郵便に準じるもの)により送付してください。

### (3) 申込先、申込期限

#### ① 申込先

〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1

地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター 総務部総務室

#### ② 申込期限

令和6年5月20日(月)午後5時15分までに提出してください。(必着)

※郵便又は信書便の場合も、5月20日(月)午後5時15分必着としますので、送付期間を考慮して早めに送ってください。

※持参による場合の受付時間

午前8時30分～午後5時15分

土曜日、日曜日及び祝日は、受け付けておりません。

上記の受付日・時間以外に持参されても、理由の如何を問わず受理しません。

### (4) 受験票の交付

受験票は、提出いただいた返送用封筒により後日郵送しますが、5月30日(木)までに到着しないときは、下記13の問い合わせ先まで御連絡ください。

## 6 第1次試験に関する注意事項

(1) 試験当日は、必ず試験開始時刻までに掲示や係員の指示に従って試験室に入室してください。

- (2) 受験の際は、受験票、筆記用具（HB又はBの鉛筆（基礎能力試験、適性検査の多肢選択式に使用、なお専門試験はシャープペンシル可）、よく消える消しゴム）、昼食を持参してください。時計を持参する場合は、計時機能だけのものに限りです。スマートフォン・携帯電話を時計として使用することは認めません。
- (3) 東京会場及び大阪会場には、会場周辺を含めて駐車場がありませんので公共交通機関を利用しておいでください。  
鳥取会場については、当センター駐車場が利用できます。

## 7 第2次試験受験の際に提出する書類

第1次試験合格者に対して、第2次試験を受験する際に次の書類の提出を求める予定です。

詳細については、第1次試験合格者にお知らせします。（※提出書類は、変更されることがあります。）

(1) 提出期限 令和6年7月10日（水）午後5時15分（必着）

(2) 提出書類

- ① 第2次試験受験調書
- ② 当センターで取り組みたいこと
- ③ これまでの主な研究概要（在学中の方は現在取り組んでいる研究概要）
- ④ 発表論文等の別刷り又はコピー
- ⑤ プレゼンテーション用資料

「これまでの研究実績及び鳥取県産業技術センター業務に対する抱負について」

## 8 合格者決定方法等

(1) 第1次試験合格者

論文試験、専門試験の得点を合計した得点の高い順により決定します。

なお、論文試験、専門試験にはそれぞれ一定の基準があり、この基準に満たない場合は、合計点に関わらず不合格とします。

また、適性検査を受検しなかった場合は不合格とします。

(2) 最終合格者

第2次試験の得点に第1次試験の得点を加味して、得点の高い順に最終合格者を決定します。

なお、個別面接には一定の基準があり、この基準に満たない場合は、合計点に関わらず不合格とします。

また、辞退等の理由により最終合格者を採用できなくなった場合は、第2次試験受験者のうち合格基準を満たしている者で成績上位者を採用する場合があります。（該当の成績上位者は、補欠として登録します。）

(3) 証明書等

最終合格者の決定後、採用までに受験資格の確認のため資格証明書等（本人以外の第三者が作成したものに限り）を提出していただく場合があります。

なお、申込書等の記載事項に虚偽、錯誤又は脱漏があると、採用されない場合があります。

(4) 第1次試験合格者及び最終合格者の発表

第1次試験合格者及び最終合格者の受験番号を当センターホームページに掲載し、併せて第1次試験合格者及び最終合格者に通知します。

## 9 試験結果の開示

この採用試験の結果は、鳥取県個人情報保護条例により、次の窓口で開示を請求することができます。開示の内容は次の表のとおりです。ただし、いずれかの試験において成績が設定された基準に満たなかった場合には順位はありません。

開示請求ができる者	開示の内容	開示期間	開示場所
受験者本人	各試験の得点、合計得点及び順位	試験結果発表日から1か月間	5（3）の受験の申込先と同じ

試験結果の開示の請求は、受験者本人が運転免許証、マイナンバーカード、学生証等の写真により本人であることが確認できるものを携行して、直接開示場所へおいでください。

## 10 勤務条件等

区 分	内 容								
身 分	最終合格者は、地方独立行政法人の職員として採用され、地方公務員法が適用される <u>地方公務員</u> となります。								
条件付採用期間	採用後6か月間（最長12か月間）は、地方公務員法の定めにある条件付採用となります。								
主 な 勤 務 地 (予定)	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター ・電子・有機素材研究所（鳥取市若葉台南7丁目1-1） 又は ・機械素材研究所（米子市日下1247） ※このほか、当センター各施設等								
勤 務 形 態	週38時間45分 勤務時間：午前8時30分から午後5時15分まで（休憩 正午～午後1時） ※フレックスタイム制を導入しており、時差出勤も可能です。 休 日：毎週土曜日・日曜日、祝日、12月29日～1月3日 休 暇 等：年次有給休暇、特別休暇ほか								
月 額 給 料	初任給 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>経 歴 等</th> <th>月額基本給</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年3月大学卒</td> <td>210,200円程度</td> </tr> <tr> <td>令和6年3月大学院修士課程修了</td> <td>229,400円程度</td> </tr> <tr> <td>令和6年3月大学院博士課程修了</td> <td>253,200円程度</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"><b>※研究職歴や関連する勤務職歴等に応じて加算されます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任給額は、募集案内時点の月額であり、採用時までに給与改定を行った場合はそれによります。</li> <li>・昇給は、原則年1回あります。</li> <li>・給料及び手当等は鳥取県職員の例によります。</li> </ul>	経 歴 等	月額基本給	令和6年3月大学卒	210,200円程度	令和6年3月大学院修士課程修了	229,400円程度	令和6年3月大学院博士課程修了	253,200円程度
経 歴 等	月額基本給								
令和6年3月大学卒	210,200円程度								
令和6年3月大学院修士課程修了	229,400円程度								
令和6年3月大学院博士課程修了	253,200円程度								
手 当	給料のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当などの諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。								
福 利 厚 生	地方職員共済組合法、地方公務員災害補償法適用								

## 11 その他

(1) 提出いただいた書類は返却しません。

(2) 個人情報の取扱い

本試験の実施に際して収集した個人情報については、次の目的以外には利用しません。

①採用試験及び採用に関する事務に利用します。

②個人が特定できないよう処理した上で、今後の募集活動のための資料として利用します。

## 12 センター業務・施設説明の実施

当センターの業務内容、保有設備等を詳しくお知りになりたい方に、当センターの業務・施設の説明を次のとおり行います。参加を希望される方は、別紙の申込書に必要事項を記載して、次のとおり申し込んでください。

- 申込方法 メール、FAX 又は郵送により、下記申込先へ申し込んでください。  
(申込書記載の必要事項が記載されていれば、申込書の形式は問いません。)

■業務・施設説明を行う時間、場所

・令和6年3月1日（金）から令和6年5月17日（金）（土曜日・日曜日、祝日を除く。）

現地説明又はWEB説明

午前9時から午後5時までのうち2時間程度（要調整）

① 電子・有機素材研究所（鳥取市若葉台南7丁目1-1）

② 機械素材研究所（米子市日下1247）

※①、②の両施設の説明申込も可能です。

■申込・問い合わせ先

地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター 総務部総務室（担当 幸山）

〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1

電話：0857-38-6200 FAX：0857-38-6210 E-mail：tiit@tiit.or.jp

■その他 説明会の参加に必要な交通費等は、参加者の負担とします。

### 13 問い合わせ先

採用試験等についてご不明な点については、次の担当までご連絡ください。

総務部総務室 幸山 電話：0857-38-6200（代表） FAX：0857-38-6210

E-mail：tiit@tiit.or.jp

※当センターを映像で紹介しています。センターホームページ又はQRコードからご覧ください。

「鳥取県内企業のものづくりをアシストする研究室」～鳥取県産業技術センター紹介ビデオ～



鳥取県産業技術センターHPはこちら  
(<https://www.tiit.or.jp/>)



(別紙)

鳥取県産業技術センター 業務・施設説明申込書

〔申込日：令和 年 月 日〕

(ふりがな) 氏名・年齢	(年齢： 歳)
住 所	
連 絡 先	電 話：
	E-mail：
業務・施設説明の 希望日時	施設名：□ 電子・有機素材研究所（現地 □ WEB □） 令和 年 月 日（ ） 時～ □ 機械素材研究所（現地 □ WEB □） 令和 年 月 日（ ） 時～ ※希望する施設名及び説明方法に☑を記入し、時間を記載すること。